

3. 2022年度学校評価制度実施報告（抜粋）

■重点目標Ⅰ 良質な教育の実践

■重点課題① 魅力ある教育プログラムの開発・実践

- ① 1・2年生：特別選抜類型中心に、主要3教科の学力向上講座として、基礎・応用の2クラス編成で放課後講座を開講。
- ② 特別選抜類型と特別進学コースで毎朝主要3教科の小テストを行い、学習習慣の確立を図る。成績下位者は放課後フォロー講座を実施。
- ③ 学習支援センターのサポート体制は定着。
- ④ 探究活動の推進
連携外部機関の検索・打診（都市大・塩尻市役所・JICA等）、成果発表会・論文集作成。

■重点課題② サポート体制の充実

（1）部活動の活性化

- ① 部活動において専門知識を有する部活指導者の拡充。
- ② 高いレベルでの文武両道の実現

* クラス担任とクラブ顧問が連携し、進路目標と部活動目標に導く
進学－スポーツコースより5名の国公立大学合格者輩出。

大会成績－全国大会3団体、北信越大会5団体、県大会13団体となった。

(2) 生徒会活動の活性化

①地域ボランティア活動の実践

*通学路花いっぱい運動（継続）

*全校クリーンキャンペーン（雨天中止）

②地域との交流－ボランティア部での地域の保育園との交流

③地域行政との関わり

*塩尻市役所広報課と取材協力・編集、ふるさとCMへの出演。

■重点課題③ 教職員の人材育成・資質向上

①進学指導・受験指導の特化のためのスキルアップ研修会を実施。

②教科会主催の授業研究活動を行い教科会実施。

■重点課題④－1 ICTを利用した教育計画

*1年生全員i-Pad購入。

*ICT教育推進：Wi-Fi機器の拡張整備（校舎内のどこでも受信可能）

■重点課題④－2 国際化計画

フィリピン語学研修3/18～3/31まで実施。オーストラリアMount Gravatt High Schoolとのオンライン交流9回実施。中国語・韓国語講座（各13回）実施。留学生（トルコ・メキシコ・アメリカ）3名を受入れ、カナダの姉妹校へ2名の留学生派遣。アメリカへ1名留学中。

GN（グローバルナビゲータ）を配置し、通年でEnglishCafeを実施するとともに、GBCセミナー、EnglishCamp、CLILL学習、クリスマスイベントを実施。

■重点目標Ⅱ グループ間連携の進化・拡大

■重点課題① 各学校の連携強化

*探究コース

都市大を含む大学の教授陣による本校生徒へのオンラインでの研究指導、都市大を含む大学やその他の機関から助言者を招いての本校での研究発表会実施を3月実施。中信高校生探究フェスティバル

*魅力ある高大連携への検討

- ・大学の教授による研究指導を実施していただいた。
- ・大学の授業を遠隔授業の形で聴講し、本校生徒2名が大学の単位認定。
- ・グループ高校間での情報交換（Zoom）を実施。

■重点目標Ⅲ 教育環境の整備・充実

■重点課題① 学習環境の整備・充実

*かしわ寮（男子寮）の新設

■重点課題② 効率的業務の推進

*募集業務において、インターネット出願を導入し、そのシステムを学校説明会申込にも活用し、入試業務の効率化を図った。

■進路指導

1) 進学実績 (現役合格実績)

- ・国公立大学合格：34名 [信州大7名、千葉大1名、新潟大2名、東京都立大2名等]
- ・私立大学合格：231名

[東京都市大7名、GMARCH8名、成成明国武5名、日東駒専18名等]

4. 2023年度学校評価制度実施計画 (抜粋)

I. 第2期事業計画期間の教育目標

○文武両道の地域密着型高校の実現

- *塩尻市(中信地区)唯一の普通科進学校&普通科スポーツ強豪校としてのステイタスを築き、「塩尻(中信地区)の英才は都市大塩尻高が育てる」学校づくり
- *信州大学との日常的な高大連携をとり信大進学を実現(徹底的な信州大学入試対策)
- *強化部を中心に、個人競技へのサポートも厚くして、部活・個人の全国大会出場

○先進的な首都圏教育(ICT教育等)の推進

- *学習システムや学校行事(企画・運営)等を導入して他校との差別化を図る。首都圏の文化を発信する学校づくり
- *東京都市大学との高大連携、グループ各校(小・中高)との連携
- *旧帝大等への進学

○グローバル教育・探究活動の充実

- *「国際交流センター」を設置し、留学生対応(海外語学研修、短期・長期留学)及び各プログラム(帰国子女の受入、海外大学への進学、発信型「交渉できる」英語教育)の充実
- *探究教育の発展(国内での調査・研究を発展させ海外の学生との活動)

II 本年度の施策内容(達成目標)及び具体的な取り組み内容

■重点目標Ⅰ 良質な教育の実践

■重点課題① 魅力ある教育プログラムの開発・実践

- ①本校職員及び外部講師等による全学年の放課後進学講座を開講。
- ②朝テストとテストの放課後フォロー講座を行い、学習習慣の確立を図る。テスト作成の指示は本校職員が、問題作成・採点とフォロー学習を外部委託する。
- ③学習支援センターに関する、施設管理・学習環境維持・チューター管理を外部委託し、生徒個々により深く向き合う進路指導を実践していく。
- ④探究活動の推進
先進校の視察、研究会への参加を通して、地域連携型の探究教育を推進。連携外部機関の検索・打診、校外発表会への参加、地元地域調査の実施。

■重点課題② サポート体制の充実

(1) 部活動の活性化

①部活動において専門知識を有する部活動指導者を充実させる

＊部員増の部活動に対する外部コーチの導入

②寮運営に関連し、管理運営と規則の整備

(2) 高大連携事業の充実

(3) 進学各種講座の積極的展開（予備校講座・思考力養成講座）

(4) 学習支援センター運營業務の効率化

(5) 生徒会活動の活性化

①地域ボランティア活動の実践

＊田川シバザクラ植栽活動（継続）

＊通学路花いっぱい運動（継続）

＊全校クリーンキャンペーン（継続）

②地域との交流

③地域行政との関わり

＊生徒会役員による市長への陳情活動

＊市役所広報課とのCM作成や企画課とのキャッチフレーズの立案協力

■重点課題③ 教職員の人材育成・資質向上

①特別選抜類型の国公立大・難関私大対応授業・補習・進路指導が可能な教員を募集。

②共通テストを見据えた年間授業計画の策定。

③受験教科・小論文研修会。

■重点課題④-1 ICTを利用した教育計画

①オンライン・チューター指導の導入

②ICT活用に向けた研究授業の実施

③ICT活用のための校内ルールの見直し

■重点課題④-2 国際化計画

①コロナウイルス感染拡大が終息しつつある状況を鑑み、既存の国際教育活動（海外からの留学生や訪問団の受け入れ・イングリッシュシャワー・イングリッシュキャンプ・フィリピン語学研修・中国海外研修など）を継続実施する予定。

②Boston Harvard forum（オンライン）、ザンビア研修継続実施。

②オーストラリアのMount Gravatt High Schoolとの交流、中国語講座と韓国語講座継続実施。

③グローバルセンターの充実。